

I. 平成24年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間；平成21年12月～平成27年3月（5年4月）

1. 概況

中心市街地北側の「JR高槻駅北東地区」では、平成22年に西武百貨店駐車場棟が完成し、関西大学が開校、平成23年には愛仁会リハビリテーション病院がオープンした。また、平成24年には、集合住宅A（ジオタワー高槻450戸）が竣工と同時に公開デッキ通行部が完成し、商業施設（高槻ミュージコート）がグランドオープンするなど、計画通りに整備が進んでいる。さらに、区域北側と中央部をつなぐための事業として、平成23年に「北園高槻線の道路整備」、平成24年に「JR高槻駅南人エデッキバリアフリー化」の事業が完了し、中心市街地の回遊性が図られている。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
中心市街地内の回遊性の向上	歩行者通行量	57,642人(H19)	62,000人(H26)	59,092人(H24)	—	①
商業の質の向上による商業集積の吸引力の増進	小売業年間商品販売額	865億円(H19)	約870億円(H26)	約928億円(H23)	—	①

- 注) ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。  
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。  
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

- ・歩行者通行量 / JR高槻駅北東地区再開発事業や集客拠点整備事業、環境整備事業は計画通り進捗しており、引き続き、計画（集合住宅B／約480戸が平成26年度中に完成予定）に取り組むことで目標達成は可能である。
- ・小売業年間商品販売額 / JR高槻駅北東地区の再開発事業は計画どおり進捗しており、商業活性化のソフト事業も「高槻ジャズストリート」や「高槻まちセリ」等が継続して開催されており、達成すると思われる。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

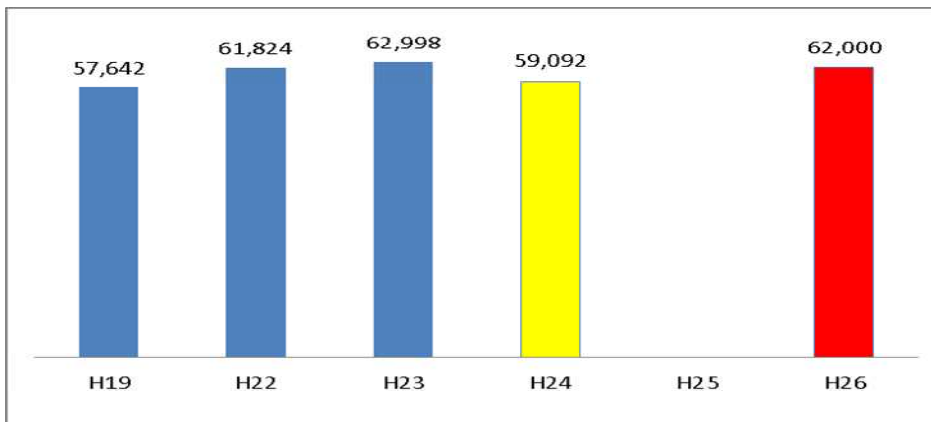
5. 今後の対策

平成25年度には、「商店街の防犯対策事業（芥川商店街）」として、防犯カメラの導入や自転車の危険走行抑止看板設置により、来街者にとって安全で快適な歩行空間の実現を図り、「子どもの総合イベント開催事業」として「第13回高槻アート博覧会」を開催、また、商店街振興のための個店力強化を図る目的で、「第2回高槻あきない繁盛塾（高槻まちセリ）」を開催する。平成26年度中には、JR高槻駅北東地区に2棟目となる集合住宅B（約480戸）が完成予定である。

## II. 目標毎のフォローアップ結果「中心市街地内の回遊性の向上」

「歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P59～P68 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位) 人
H19	57,642 (基準年値)
H22	61,824
H23	62,998
H24	59,092
H26	62,000 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査（一部推計値を含む）

※調査月：10月実施

※調査主体：高槻市及び区域内商業施設

※調査対象：歩行者（小学生以上）及び二輪車（自転車・バイク等）、主要6ポイント（①清水ラジオ前②光文社前③高槻センター街ビル立体駐車場前④パチンコモナコ西側⑤ドトール前⑥コーケンビル前）

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ① 【未】民間事業者による大規模集合住宅等の整備（北東地区）（阪急不動産株）

事業完了時期	平成26年度完了予定
事業概要	集合住宅として、約900戸の建設を予定しており、その他に商業・業務・サービスなどを備えた複合施設を整備する。
事業効果又は進捗状況	昨今の景気動向により事業の着工・竣工時期が遅れたが、平成24年に集合住宅A（ジオタワー高槻450戸）が竣工し、平成26年度中には、集合住宅B（ジオタワー高槻約480戸）が完成予定である。

#### ② 【済】大学による都市型キャンパスの整備（北東地区）（(学)関西大学）

事業完了時期	平成21年度
事業概要	小学生～社会人までの一貫教育を実践し、市民活動を支援する「市民開放施設」を整備する。大学では安全・防災・危機管理を取り扱う社会安全学部を設置し、地域に根ざした大学として「社会貢献型都市キャンパス」を目指す。
事業効果又は進捗状況	計画通り、平成22年4月に関西大学高槻ミューズキャンパスが開校し、同7月に子ども図書館がオープンした。

③ 【済】百貨店イメージ向上施策等による集客力向上事業（株松坂屋）

事業完了時期	平成 22 年度
事業概要	松坂屋高槻店は、「本市の玄関口」である JR 高槻駅南側に立地する百貨店であり、駅間ゾーンの魅力向上を目的として、高槻センター街等の周辺商店街との販売促進事業の展開を目指し、「百貨店と商店街との連携」によるエリア全体の回遊性向上を図る。
事業効果又は進捗状況	「JR 高槻駅南エリアのまちを PR する」目的で高槻センター街商店街と共同し「表に松坂屋、裏にセンター街」の A2 チラシを市内全戸（13 万戸）に配布し、全国的にも珍しい共同事業として全国紙に掲載された。

④ 【済】北園高槻線・道路（来街者の回遊性向上に向けた道路整備事業）（高槻市）

事業完了時期	平成 23 年度
事業概要	北園高槻線は、JR 高槻駅北東地区から、阪急高槻市駅への歩行者導線として多くの市民の利用が予想される。そこで、当該箇所を拡幅し、歩道を整備することにより、歩行者の安全性を確保するとともに、移動の円滑化及び利便性の向上を図る。
事業効果又は進捗状況	当初の計画から 1 年遅れたが、平成 23 年度に完成した。

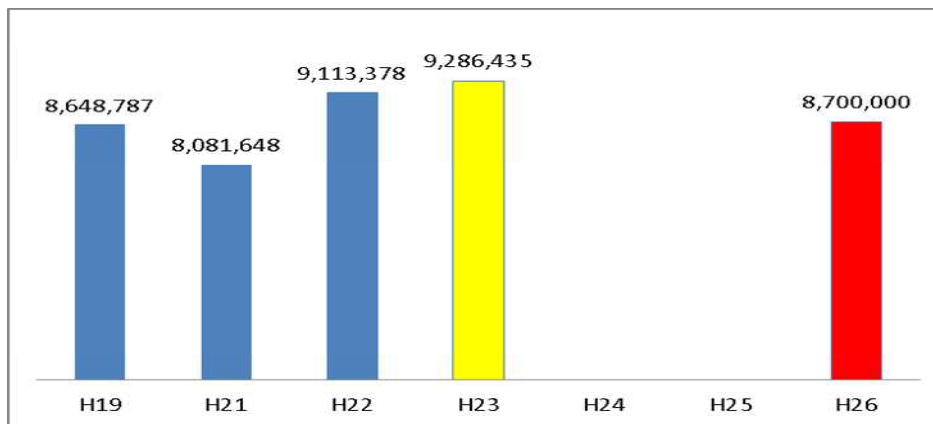
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

集合住宅 A（ジオタワー高槻 450 戸）の建設や関西大学の開校といった「JR 高槻駅北東地区の再開発事業」は計画通り進捗しており、本市の玄関口に位置する松坂屋高槻店を中心とした「集客拠点整備事業」や北園高槻線の道路整備等の「環境整備事業」も順調に進捗している。その成果として、平成 24 年度は微減したとは言え、基準年値である平成 19 年度と比較しても増加しており、下げ止まりの結果を得ている。引き続き、計画（集合住宅 B / 約 480 戸が平成 26 年度中に完成予定）に取り組むことで目標達成は可能である。

## Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「商業の質の向上による商業集積の吸引力の増進」

「小売業年間商品販売額」※目標設定の考え方基本計画 P69～P73 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位) 万円
H19	8,648,787 (基準年値)
H21	8,081,648
H22	9,113,378
H23	9,286,435
H26	8,700,000 (目標値)

※調査方法：商業統計、区域内商業施設調査に基づく推計

※調査月：6月調査（商業統計）、3月集計（区域内商業施設調査）

※調査主体：経済産業省調査より高槻市推計（商業統計）

※調査対象：中心市街地内の小売業店舗（商業統計）

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①【未】民間事業者による大規模集客・複合施設の整備（北東地区）（阪急不動産株）

事業完了時期	平成 26 年度完了予定
事業概要	複合施設として、物販・飲食・賃貸マンション・老人福祉施設などの整備を実施し、JR 高槻駅北東地区の玄関口にふさわしい施設として多様な機能の導入を図る。
事業効果又は進捗状況	計画通り、平成 24 年 9 月に複合棟 A 商業部（高槻ミュージックコート）がオープンした。

#### ② 民間事業者による大規模集合住宅等の整備（北東地区）（阪急不動産株）「【再掲】 P2 参照」

#### ③ 大学による都市型キャンパスの整備（北東地区）（(学)関西大学）「【再掲】 P2 参照」

#### ④【実施中】回遊性向上に向けた地域情報発信事業（高槻都市開発株）

事業完了時期	平成 26 年度完了予定
事業概要	中心市街地への来街者増加を目的として、地域情報、店舗情報等の発信体制を整備するとともに、テレビ・雑誌等へのパブリシティ戦略を確立し掲載機会の増加を図る。
事業効果又は進捗状況	平成 24 年度に「高槻まちセリ」を開催し、その様子はケーブルテレビで放映された。平成 25 年度は第 2 回を開催する予定である。

### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

大規模集客施設（高槻ミュージックコート）の整備による販売額の増加や、集合住宅 A（ジオタワー高槻 450 戸）の建設による新規居住者と、関西大学の開校等による新規通勤・通学者による消費額の増加等により、順調に進捗していると思われる。引き続き、住宅整備事業（集合住宅 B／約 480 戸が平成 26 年度中に完成予定）や商業活性化ソフト事業に取り組むことで目標達成は可能である。